

平成 17 年度科学研究費補助金実績報告書 (研究実績報告書)

1. 機関番号 1 4 6 0 3 2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学

3. 研究種目名 若手研究(B) 4. 研究期間 平成 17 年度 ~ 平成 19 年度

5. 課題番号 1 7 7 0 0 1 1 1

6. 研究課題名 アソシエーション可視化による異文化間協調作業のための相互理解と知識創発の統合支援

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
7 0 3 7 9 6 0 0	フガナ オオヒラ, マサオ 大平, 雅雄	情報科学研究科	助手

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
	フガナ		
	フガナ		
	フガナ		
	フガナ		
	フガナ		

9. 研究実績の概要(国立情報学研究所でデータベース化するため、600字~800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)

1. 研究の目的
本研究課題は、異文化間協調作業におけるグループミーティング時の相互理解構築過程と知識創発過程の計算機による統合的支援を目的としている。本研究課題では、(A)異組織の開発者らによるソフトウェア設計ミーティング、(B)産学官連携プロジェクトにおける研究者らによる研究ミーティング、(C)システムアナリストと顧客らによる要求定義ミーティングという具体的な応用ドメインにアソシエーション可視化技術を適用しその有効性を検証する。
2. 本年度(～平成18年3月31日)の研究実績
 - (1) 応用ドメインの現地調査
研究目的で挙げた応用ドメインの現地調査を行った。特に、(C)については外在化される情報、利用されるメディア、最終成果物の詳細な観察を行った。
 - (2) 可視化対象アソシエーションの選定
現地調査の結果からアソシエーションとして可視化すべき情報をいくつか特定した。効果的に作用するアソシエーションを確認するために実験を行い、その結果を学会等で発表した。
 - (3) 既存システムの拡張設計
研究代表者がこれまで構築してきた既存システムをベースとして、拡張版の支援システムの設計を行った。可視化方法の改良についての研究成果は2006年5月に発表する予定である。

成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書(A4 判縦長横書 1 枚)を添付すること。

10. キーワード

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| (1) アソシエーション | (2) 異文化 | (3) 協調作業支援 |
| (4) 要求工学 | (5) ソフトウェア開発 | (6) 知識協創支援 |
| (7) 相互理解 | (8) 知識創発 | (裏面に続く) |

11. 研究発表(平成17年度の研究成果)
〔雑誌論文〕 計(6)件

著者名	論文標題	雑誌名	巻・号	発行年	ページ
Masao Ohira	Supporting Knowledge Collaboration Using Social Networks in A Large-Scale Online Community of Software Development Projects	Proc. of 12th Asia-Pacific Software Engineering Conference (APSEC 2005)		2005	835-840

著者名	論文標題	雑誌名	巻・号	発行年	ページ
Masao Ohira	Supporting Knowledge Collaboration Using Social Networks in A Large-Scale Online Community of Software Development Projects	Proc. of International Workshop on Mining Software Repositories (MSR2005)		2005	111-115

著者名	論文標題	雑誌名	巻・号	発行年	ページ
Susumu Kuriyama	A Wearable Interface for Visualizing Coauthor Networks Toward Building A Sustainable Research Community	Proc. of the working conference on Advanced visual interfaces		2006	To appear

著者名	論文標題	雑誌名	巻・号	発行年	ページ
角 秀樹	ソフトウェア要求抽出における実験的会話分析	ソフトウェア工学の基礎XII, 日本ソフトウェア科学会FOSE2005		2005	145-154

著者名	論文標題	雑誌名	巻・号	発行年	ページ
遠 明憲	ソフトウェア要求抽出会議への異分野協調作業支援ツールの適用と考察	電子情報通信学会技術報告, ソフトウェアサイエンス研究会	No.SS2005-60	2005	31-36

著者名	論文標題	雑誌名	巻・号	発行年	ページ
柿元 健	オープンソースソフトウェア開発コミュニティにおける知識協創支援へ向けたプロトタイプシステムの開発	電子情報通信学会サイバーワールド研究会, 第2回研究会		2006	33-38

〔図書〕 計()件

著者名	出版社	書名	発行年	総ページ数

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況
計()件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日